

# 公共施設マネジメントにおける市民討議会の活用



2014年9月24日

盛岡市財政部資産管理活用事務局 主任 土森 貞行

国土交通省 / 東京大学公共政策大学院 PRE / FM研修 アドバイザー

総合政策修士

# ○自己紹介

## 職歴

平成12年度	盛岡市採用 盛岡市中央卸売市場 配属
平成16年度	総務部職員課 配属
平成22年度	市長公室企画調整課 配属 (盛岡市まちづくり研究所担当)
平成24年度	財政部(資産管理活用事務局)配属

## 公共施設マネジメント関連

平成22～23年度	岩手県立大学盛岡市まちづくり研究所 共同研究員 研究テーマ「アセットマネジメントによる公有資産保有の在り方について」 【日本都市センター「第3回都市調査研究グランプリ」優秀賞受賞】 【法政大学「第10回地域政策研究賞」奨励賞受賞】
平成23年度	(財)東北活性化研究センター 「地域社会資本ストックの維持・更新と取り組みの方向性調査研究会」委員
平成23～24年度	岩手県立大学大学院総合政策研究科博士前期課程 (総合政策修士取得) 修士論文「地方自治体における公共施設マネジメントの現状と課題」 【課題は合意形成。スタート段階から住民とともに検討していくアプローチが必要。】
平成24～27年度	国土交通省/東京大学公共政策大学院PRE/FM研修アドバイザー
平成25年度	市町村職員中央研修所「公共施設の有効活用(大量更新へ対応)」講師

# 市民討議会とは

ドイツで住民自治の手法として行われているプラーヌクスツェレを日本風にアレンジし取り入れたもの。

無作為抽出した方々に招待状を出し，その中から参加の意思表示を頂いた方々が，テーマについて公正な情報提供を受けた上で，小グループに分かれて討議する。グループ毎に意見を幾つか取りまとめ発表し，それらの意見に対して全員で投票し，全体としての意見を形成する。

## ○主な特徴

- 1 対象者を無作為で抽出して参加要請する
- 2 参加者には謝礼を支払う
- 3 少人数（5～6人）によるグループ討議
- 4 討議でのまとめを発表，全員で投票
- 5 討議前に参加者に必要な情報を提供



# プラーヌンクスツェレとは

ドイツ・ヴパタル大学名誉教授ディーネル（Peter C. Dienel）により1970年代に考案された市民参加の手法。ドイツでは、1990年のドイツ統一後、地方公共団体において住民投票制度が導入されていったことに伴い、直接民主主義に対する認識が高まり、市民参加の手法の1つとして注目された。現在、スペインやオランダなどでも取組まれている。

## 【長所】

### 1．決定志向

多くの代案的な解決策が考えられ、そのひとつに決定が必要な係争的課題に適している。無作為抽出された市民が正統性を持ち、人々に受け入れられる提言を出す。それ故、社会全体に対して決定を促す。

### 2．意見の代表性，中立性

無作為抽出で候補者が選定されるため、地域全体の平均的意見に比較的近い意見が得られる。特定の考え方を有する集団の組織的な働きかけの影響を受ける懸念が少ない。

### 3．地域全体の視点にたった意見

討議後、投票されるため、地域全体にとって適切か、より多くの人に支持される提案であるかが意識され、個人的な利害や好悪の感情からでなく、地域全体の視点にたった討議がなされる。

# ○盛岡市の市民討議会（概要）

## （１）開催目的

18歳から80歳代までの幅広い市民の参加により英知を結集して、公共施設の老朽化問題の解決方法を討議し、「公共施設保有の最適化と長寿命化の計画」策定につながる「市民提案」をまとめることを目的として開催。

## （２）開催内容

盛岡青年会議所と盛岡市の協働により市民討議会実行委員会を組織し実施。討議の前提となる問題の所在を、参加者に十分に理解いただいた上で、討議を行うこととし、施設の現地視察を行ったほか、施設管理者による施設の利用状況の説明や、市の客観的な数値データ等の説明、専門家による問題解決策の考え方の説明など、情報提供に多くの時間を設けた。

1日目は、施設の現地視察を行った後に、

「テーマ1（練習討議）公共施設の視察を行い感じたこと。」

「テーマ2 公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。」

2日目は、初日にまとめた方向性を具体的にどのように実現していくべきか検討し

「テーマ3 地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか。」

「テーマ4 全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか。」

を討議した。

# ○参加者の選定

住民基本台帳から18歳以上の市民3,000人を無作為抽出し、案内を送付。募集人数40人のところ134名申込。応募多数につき抽選で44名を選出。抽選は、参加者の世代が偏らないよう配慮し、10歳代から80歳代までを年代毎に分類し、各年代から7名（10歳代及び80歳代以上は各1名）を選出。

結果、男性23名、女性21名が選出された。仕事等によるキャンセルもあり、最終的に1日目は36名、2日目は35名の方が参加。

2日間で6,000円の謝礼を準備。また、子育て世代も参加しやすいよう、託児サービスを設置。

参加申込者及び抽選結果

年代	申込者	抽選結果
10歳代	1名	1名
20歳代	10名	7名
30歳代	14名	7名
40歳代	20名	7名
50歳代	17名	7名
60歳代	39名	7名
70歳代	24名	7名
80歳代	9名	1名
計	134名	44名

実際の参加者数

年代	1日目	2日目
10歳代	1名	1名
20歳代	6名	5名
30歳代	5名	5名
40歳代	5名	5名
50歳代	4名	4名
60歳代	7名	7名
70歳代	7名	7名
80歳代	1名	1名
計	36名	35名

# ○当日の構成

## 平成25年10月12日(土)【1日目】

9:30 ~ 9:45	開会式・説明
9:45 ~ 12:00	<p>現地視察 大新小学校(10:10~) 【説明】大新小学校校長 佐々木 健 様</p> <p>現地視察 厨川児童・老人福祉・地区活動センター(10:50~) 【説明】同センター-所長補佐兼館長補佐 石川 孝 様</p> <p>現地視察 青山二丁目アパート青山三丁目アパート(11:20~) 【車内説明】実行委員会委員</p>
12:00 ~ 12:45	昼食
12:45 ~ 13:50	「テーマ1 (練習討議) 公共施設の視察を行い感じたこと。」 話し合い・発表・投票
14:05 ~ 14:30	「テーマ2 公共施設の老朽化問題に今後どのように取り組んでいくべきか。」【情報提供】実行委員会委員 盛岡青年会議所 理事 吉田 光晴
14:30 ~ 16:05	テーマ2 話し合い・発表・投票
16:05 ~ 16:15	閉会式・事務連絡

## 平成25年10月27日(日)【2日目】

9:30 ~ 9:56	開会式・説明
9:57 ~ 10:11	<p>前回の振り返り 【情報提供】実行委員会委員 盛岡青年会議所 理事 吉田 光晴</p>
10:12 ~ 10:51	<p>「テーマ3 地域で利用している施設を、どのように見直していくべきか。」 【情報提供】 地域利用施設の再整備の観点について 日本大学経済学部教授 中川 雅之 様</p>
11:02 ~ 12:30	テーマ3 話し合い・発表
12:30 ~ 13:15	投票・昼食
13:15 ~ 13:56	<p>「テーマ4 全市的に利用している施設を、どのように見直していくべきか。」 【情報提供】 全市的利用施設の再整備の観点について 日本大学経済学部教授 中川 雅之</p>
13:57 ~ 15:26	テーマ4 話し合い・発表・投票
15:40 ~ 15:48	閉会式・事務連絡

# ○グループ討議の方法（情報提供）

## （１）情報提供

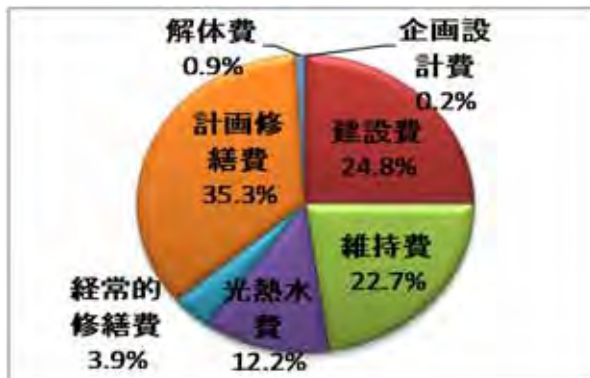
はじめに，情報提供者から参加者全員で情報提供を受けます。

施設利用者



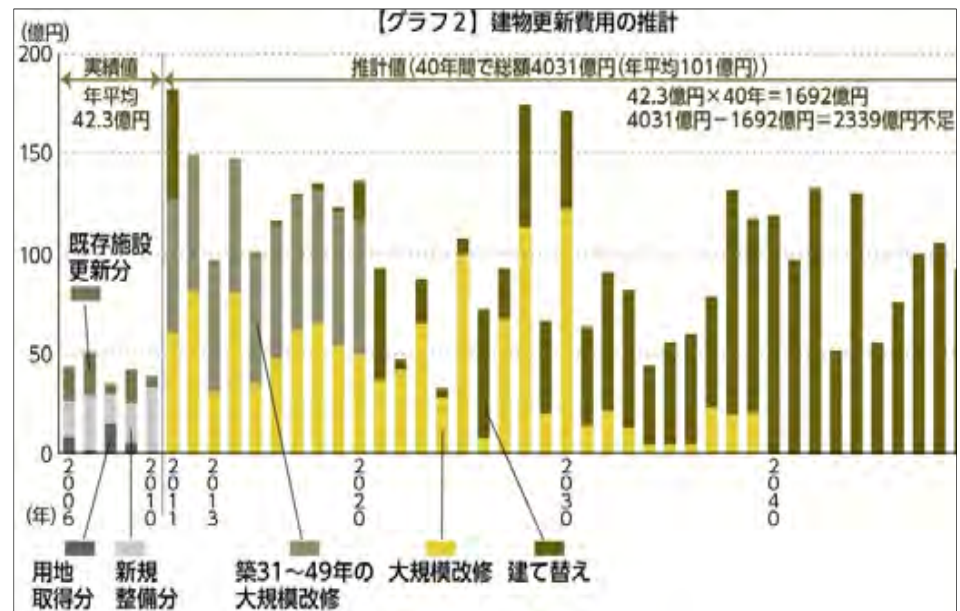
市には，修繕の要求をしているが，予算でほかに優先するものがあつたりし，修繕できていない。  
児童数が半減し余裕教室も発生している。

専門家



建設費以外に将来掛かる費用は，建設費の約3倍。  
建設費以外には，国の補助は無く，自治体の負担。

実行委員会



更新費用推計年101億円，このままの予算年約42億円では，全体の約4割しか更新できない。  
放っておくとやがて崩壊して大きな事故になりかねない。  
その一方で，すべてを補修しようとする巨額の費用が掛かって自治体の財政を押し潰してしまう。



# ○グループ討議の方法（討議）

## (2) グループ討議



テーマ：公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか。

作業スペース

現状分析 精査

対策・維持の  
具体策

投票欄

まとめ欄	投票欄
① 現状分析(施設の必要性) 必要な施設の選別、統廃合	●●●●●●●● ●●●●
② 外部委託による施設維持費の削減 とサービス向上	●●●●
③ 生産年齢を増やすための見込みあるまち作り (市民負担の少ない納税方法などと納税率の導入)	●●●●●●●●●● ●●●●●●●●

残したい意見  
市の土地や施設は、市全体で申りたい

10  
4  
11

討議の結果を3つまとめ欄に記入

# ○グループ討議の方法（発表・投票）

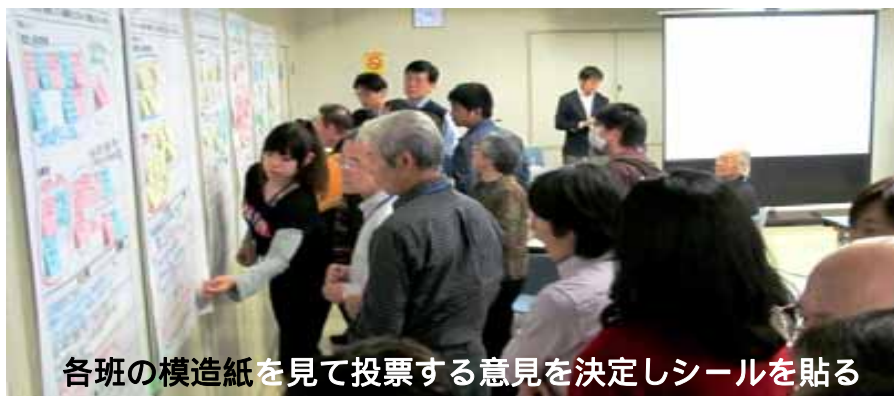
## （3）討議結果の発表

全体に向けて班毎に1分程度で、代表意見を中心に討議結果を発表する。



## （4）討議結果への投票

発表を聞いて、各班の代表意見のうち、同意する意見に投票する。投票はシート1人5枚まで投票できる。1つの代表意見に複数枚貼っても良い。



# ○市民からの提言

## (練習討議) 公共施設の視察を行い感じたこと

1位 建替え・修繕が必要 71票

2位 老朽化・ランニングコスト・ライフスタイル文化の  
トータルの設計を 21票

3位 トイレ環境整備 19票

4位 施設の有効利用のコーディネート育成 16票  
 5位 施設の有効利用 14票  
 6位 運営や家賃の見直し 12票  
 7位 施設の再構築 10票  
 8位 サービスの広報不足 9票  
 9位 給食は教室より食堂に、ライトはLED、  
校庭は芝生 7票

(以下省略)

## 公共施設の老朽化問題に、今後どのように取り組んでいくべきか？

1位 複合化・多目的利用を行う 25票

今後は複合施設として建設する

大型商業施設とコラボする(大型商業施設内に公共施設を入れる)

他の目的にも共通して使える施設配置とする

公営アパートは、増加する空き家を利用する

2位 市民の問題意識の向上が必要 18票

箱物を作ることを利用者が良く考えることが必要

問題を分かりやすく広報する

市側に要求するだけでは良くない

3位 統廃合が必要 16票

必要施設を選別しなければならぬ

施設の必要性の検討、分析をすべき

類似する施設は統廃合する

施設を不要・必要・新たに必要に分ける

4位 価値のある古いモノを生かす 14票  
 5位 長期展望・計画をつくる 11票  
 5位 生産年齢人口を増やす 11票  
 5位 人材育成が必要 11票  
 8位 老朽化対策の総合的機関を設置する 9票  
 9位 リサイクルを考慮した建設を行う 8票  
 9位 税外収入を確保する 8票  
 11位 税財源を見直す(工場誘致) 7票  
 12位 利用者の料金負担を行う 5票  
 12位 解体・修繕を行う 5票  
 14位 環境に配慮した住みやすい町 4票  
 14位 外部委託により施設維持費を削減する 4票  
 14位 新設は拡大展開しない 4票



# ○市民からの提言

地域で利用している施設を、  
どのように見直していくべきか？

1位 統廃合と民間委託について、  
具体的に検討する 16票

不要なハコ物は 思い切って解体 する。土地は売 却又は貸出する	児童・老人・地区 活動センターを統合 し地域住民の集 いの場にする	統合すること によって世代間交 流が出来るので はないか	管理運営は民 間活力を利用 する
--	--	---------------------------------------	------------------------

2位 施設の機能（サービス）は維持し、  
設備（ハコ）は簡素化・集約する 14票

地域で利用でき る施設を1つに 集約する	学校を統廃合し ても良いのでは 距離を考慮中心 に配置する	老朽化したもの は隣接地区と併 合する	デマンドバスの 活用で施設の エリアを広める
----------------------------	--	---------------------------	------------------------------

3位 施設の区割りを見直し広域化を行う 13票

将来(地域人口財 政等)を見通した まちづくりを行う	小・中学校の学 区の見直しを行 う	地域を再編する 2,3地区を1つ にする	広域化に対応し、 情報・交通サー ビスを充実する
----------------------------------	-------------------------	----------------------------	--------------------------------

3位 既存・新築の統合複合 13票

学校の図書館・ プール・体育館 をみんなで使う	児童センターを なくし、小中学 校の中に入れる	老人福祉施設も 小中学校に入れ る	市営住宅の1階 に児童・老人施 設をつくる
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------	-----------------------------

3位 民間との協力 13票

ショッピングセンターと 公民館を併設す ると、利用率の 確保につながる	新しく建てる際 は、コンビニや レストランなど を入れる	体育館を民間の スポーツジムな どに運営を任せ、 収入を得る
--	---------------------------------------	---

6位 利用目的・利用形態を考える（公民館） 12票  
7位 利用率にとらわれない姿勢 10票  
8位 交通手段の利便性を考える 9票  
9位 小中学校を基本にして施設を見直す（学校を地域で利用） 7票

（以下省略）

全市的に利用している施設を、  
どのように見直していくべきか？

1位 施設機能の積極的な対外PRを行う 16票

利用してもらえ るようPRが必要	オンライン化やIT化に よる情報周知を行う ネット利用して積極 的に全国展開する	施設へのアクセ スを充実させる
---------------------	---	--------------------

2位 施設利用の広報活動をする 16票

各施設のPRが不 足している	指定管理者の活 動方針が良く分か らない
-------------------	----------------------------

3位 施設統廃合による不便は、デマンドバスの  
導入でサービスを落とさない(IT活用) 13票

施設を減らした経費 で、バスを導入して 運用することにより、 利便性が向上する	庁舎、支所・出 張所は、設置の 意義が見出せ ないものもある	図書館は、学校や 公共の蔵書をネッ トワークで検索活用す る仕組みとしては
--	---	--

4位 施設運営の充実化 11票

図書館は、統合し専 門等を充実させる カフェやCD・DVDレンタル との複合化を行う	体育施設は、ダ ンス教室やヨガ・ フィットネスなどの 複合化を行う	博物館等の施設 は展示内容の更 新(他市との入 れ替え)を行う
---	--	--

5位 重複施設を減らす 10票

ホールは多い、集約 しコストダウンし、上質 なリフト(催し)を呼び 子ども達に見せる	図書館はエリア内の小 中学校と複合化する 学校には図書館が あり複合化可能	記念館・博物館 は類似している ものを統合する	合併前の全市的 に利用している 施設を地域利用 施設に組み込む
---	--	-------------------------------	--

6位 支所・出張所の統廃合 9票  
6位 施設目的・必要性の再検討（県・近隣地域との共同利用、  
市民意見を募る） 9票  
6位 少子高齢化に対応し民間アイデアを取り込む 9票  
9位 利用者が増えるように宣伝する(観光PR,イベント,ゆるキャラ) 8票  
10位 民営化・委託（行政サービスを民間委託・証明書発行は  
ATMでIT化） 7票

（以下省略）



## ○市民提言書の提出

市民討議会開催後，市民討議会実行委員会において，討議内容などをまとめた報告書の作成が進められ，2013年12月17日（火），市民提言書・実施報告書が盛岡市長に提出された。

実行委員会の高橋一仁副委員長は「市民の方も意欲的だった。今後，市政の一助になればという思いで資料を作成した。一読しぜひ活用して欲しい」と，市長に市政への反映を要望し，谷藤市長は「市の中でも課題になっているテーマを掘り下げてもらった。さまざまな計画に反映できるものを生かしていければ。少子高齢化でもあり，財源もかなり限られた中で，どう効率よく行政を運営していくかが重要な課題。活用させてもらう」と答えた。



市民提言書は同市議会議員に配付したほか，ホームページ（施設保有の最適化 と検索）で公表。

<http://www.city.morioka.iwate.jp/machizukuri/28638/index.html>

# ○市民討議会の活用に至った背景

## ○長期的課題への対応の遅れ

- ・ 公共施設の老朽化問題は財政問題であり長期的課題
- ・ 代表制民主主義では短期的課題が優先されやすい

## ○利害関係の調整が困難

- ・ 施設の利用者等の利害が絡む
- ・ 代表制民主主義では，課題認識していても，調整が難しい領域
- ・ 市民の声を議会に届けることで，議論が可能となる

## ○十分な問題認識が必要

- ・ 施設マネジメントの問題点がどこにあるか十分な認識が必要
- ・ 従来の市民アンケート等では対応方法を決めることが困難
- ・ 十分な資料や専門家の考えなど，十分な知識が必要

## ○市民の決断が必要

- ・ 人口減少社会に入り，既存のサービスの維持が困難に
- ・ 選択と集中が必要